

## イベントの様子

### ○10月9日(土)～10月22日(金):グリーンリボンアート展

10月9日(土)10時よりアート展を開始した。展示期間中には、ミニイベントを3日間開催したことにより、例年より多くの来場者が訪れた。また数名のスタッフが来場者に対し、活動内容、アート展示のことについて説明することができ



た。

移植を受けた子どもたちの作品展



移植医療普及啓発資料並びにポスター

### ○10月9日(土):絵本の読み聞かせ

協力企画「心が豊かになる絵本読み聞かせ」を①10時～②13時～③14時30分～の3公演開催した。子ども連れのお客様に多く来場いただくことができ、子供たちが楽しめる内容であり保護者の方々にも好評であった。実施団体:一般財団法人絵本未来創造機構



### ○10月16日(土):紙飛行機作成、紙芝居の読み聞かせ、うちわづくり

主催企画「紙飛行機の世界 親子で作って飛ばしてみよう!」、「瀬戸内紙芝居 つなぐんの物語」、「つなぐんうちわづくり」を開催した。

紙飛行機作成では、当協会マスコットキャラクター「つなぐん」が描かれた紙飛行機を参加者自らが制作した。子どもも大人も熱心に取り組んでいた。

紙芝居では、瀬戸内紙芝居様にグリーンリボンをテーマに公演していただいた。瀬戸内紙芝居様、ご自身が制作された紙芝居はとてもユーモアがあり、子どもたちの笑いでいっぱいであった。

つなぐんうちわづくりでは、「つなぐん」の形にうちわを切り、参加者の皆さんに持って帰って頂いた。また、10月16日はグリーンリボンデーでもあり、「つなぐん」と形に残るもので、グリーンリボンについて知っていただくきっかけになったのではと考える。



紙飛行機制作



紙芝居の読み聞かせ



つなぐんうちわづくり



貼り絵作成(期間中常時開催)

## 10月17日(日):金の糸を探す旅の体験会

協力企画「金の糸を探す旅の体験会」では「Kirari☆Carta☆」を開催した。

実施団体スマイルフラッグ



キラリ・カルタを使用してるワーク



## 10月23日(土):グリーンリボンフェス音楽ライブ

### 10時～ 会場設営、リハーサル

新型コロナウイルス感染防止対策として、イベントスタッフ、アーティストの会場入り時間が重ならないように調整し、屋内では3蜜を避け、会場設営とリハーサルを行った。

当日の来場者は、完全予約制とし、会場である CLiP HIROSHIMA のガイドラインのもと人数制限を行った。さらに、会場では、事前に席の間隔やステージとの距離をとって設置し、会場入り口での検温、来場者名簿の記入、手指消毒を行ったうえで入場していただいた。



間隔を開けての座席配置

### 14時30分～ 音楽ライブスタート YouTubeでも同時に配信開始



#### オープニングムービー

これまでの活動を振り返るとともに、協賛団体様の紹介を行った



#### 司会

広島修道大学の学生が務めた

### 出演者



シンガー 永利健司



アイドル I LOVE U@あいり



シンガー KENTA KIHARA



キーボーディスト 住麻衣子



ジャズシンガー 川本睦子



ボーカリスト 丸目紗耶



ボーカリスト Lino



シンガー PRML5



シンガータレント 月山翔雲



ベーシスト 住本好之

本年度は、アーティストの皆さんでコラボレーションしていただくプログラムが新たに追加された。



広島県立祇園北高等学校書道部



書道部の皆さんがとても大きな半紙に、力を合わせて想いを書いて下さった。大きな掛け声とともに筆が走る様は、圧巻であり会場を盛り上げた。



「つなぐん」紹介



絵本講師 檜葉博美

移植医療に関する手記の朗読と絵本の読み聞かせをしていただいた。(著作権のため写真に加工を施している)





当協会支部メンバー メッセージ動画



県外からのメッセージとして、インタビュー動画を作成していただいた。一人でも多くの人に意思表示の和が広がるよう、活動を継続していく。



移植をテーマにしたトークセッション

トークセッションでは、移植経験談を聞くとともに、若者が持つ移植医療に関する疑問について質問した。

## フィナーレ



フィナーレでは、当協会テーマソング「Life is colorful」をアーティスト全員で合唱していただいた。来場者の皆さんもつなぐんうちわを手に、スタッフとともに手を振り応えた。最後に会場全体が一体となるパフォーマンスであった。



出演者・スタッフ集合写真